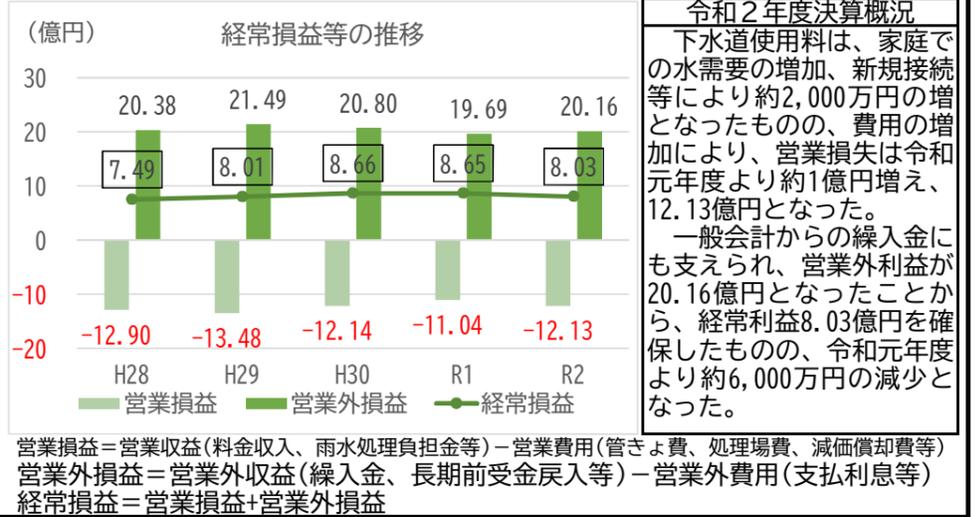
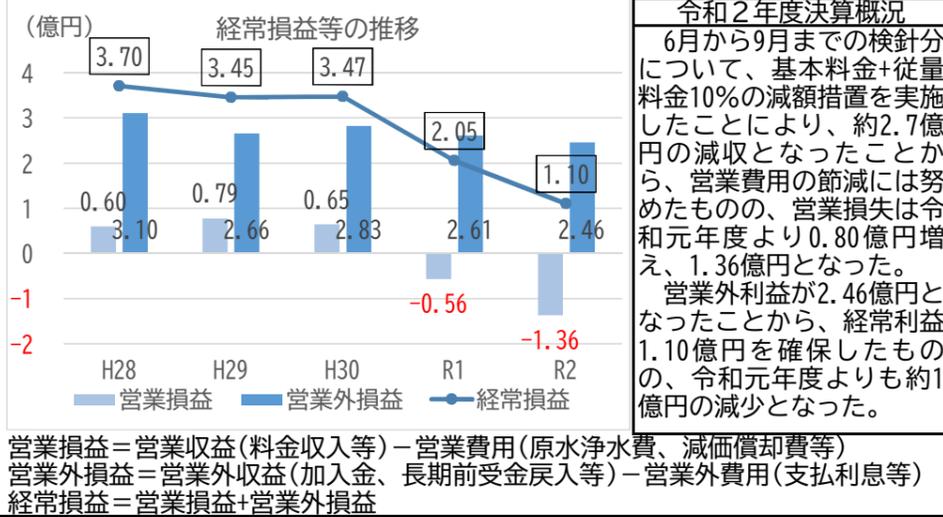


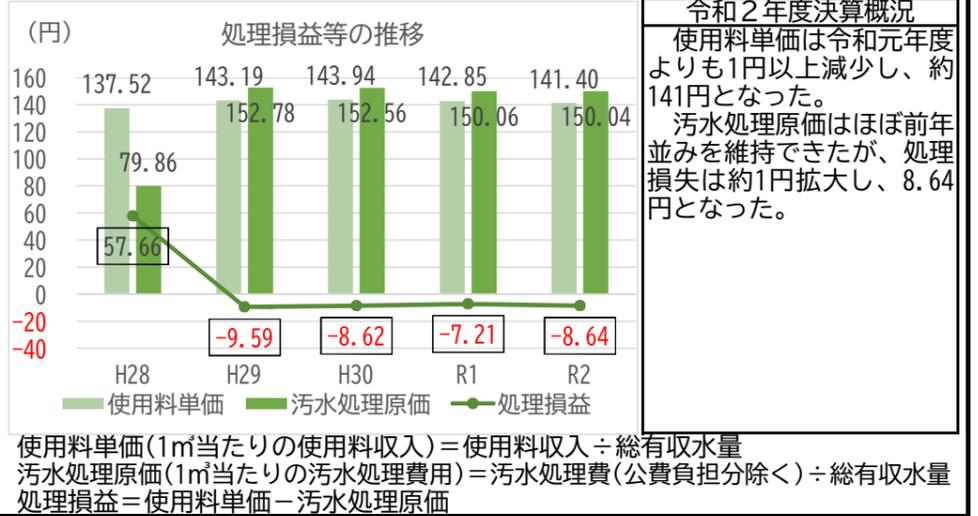
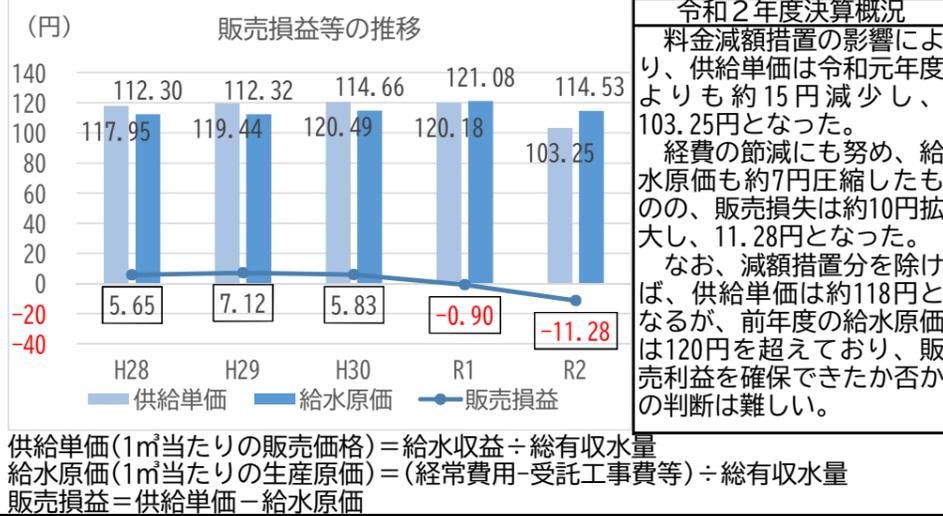
【水道事業】

【公共下水道事業】

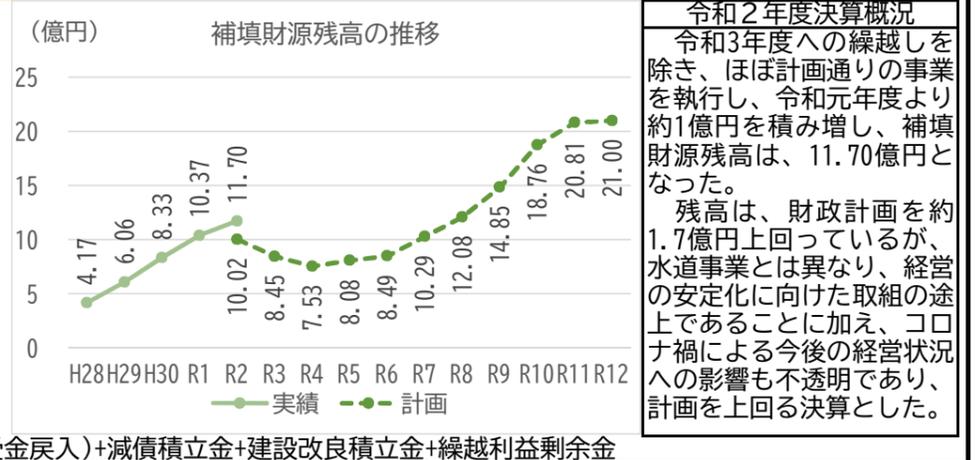
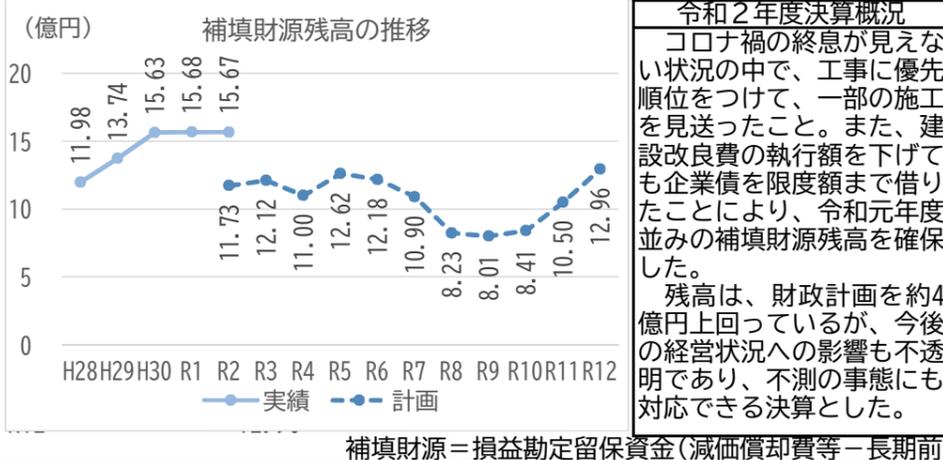
① 経常損益等【健全経営が行われているか判断する指標】



② 販売損益等【料金設定が適切か判断する指標】



③ 補填財源残高【将来にわたり安定した経営を行えるか判断する指標】



④ 有収水量及び料金収入の推移【今後の経営見通しを判断する指標】

有収水量	水道	家庭での需要が増えたことにより、約17万m <sup>3</sup> 増加した。有収水量の増加は、平成22年度以来10年ぶり
	下水道	家庭での需要が増えたこと、及び新規接続により約27万m <sup>3</sup> 増加した。有収水量の増加は、平成29年度以来3年ぶり
料金収入	水道	減額措置の影響等により290百万円減少。減額措置の影響を除いても190百万円減少。大口需要者からの減少が影響している。
	下水道	有収水量の増加とともに27百万円増加。自己処理をしている水道の大口需要者がいるため、水道のような影響はなかった。

